

**ジョリパット不燃**  
**JQ-200シリーズ**  
**こだち仕上げ**  
**施工の手引き**

**平成19年5月【初版】**

**令和 2年3月【改訂】**

**アイカ工業株式会社**  
**第二R&Dセンター**

## 建設樹脂開発グループ

### <使用材料>

材 料	商 品 名	概 要	荷 姿	標準施工面積
シーラー	ジョリパットシーラー JS-500	水性タイプ アクリル系 1液型透明シーラー	18kg石油缶	約51.4㎡/缶
主 材	ジョリパット不燃 JQ-200 シリーズ 標準色 JQ-200、JQ-□□□□ (□…数字) 特注色 JQ-200△○○○ (△…英字、○…数字)	アクリル共重合樹脂 水性仕上塗材	20kg <sup>レ</sup> 缶	約 8㎡/缶

### <主な施工道具>

- ・ リシンガン又は金ゴテ (下塗り)
- ・ マスチックローラー (JR-20 : 9インチ) 又は、ウールローラー  
(JR-61 : 7インチ) 又は金ゴテ (配り塗り)
- ・ 専用ぼうき (JR-62X)
- ・ ヘッドカットローラー (平面用 ジョリパットローラー JR-26)  
(隅 用 ジョリパットローラー JR-27)

### <下地調整>

標準下地は、石膏ボード (プラスターボード) 又はモルタルとする。

## <こだち仕上げ施工方法>

### 1. シーラー塗布

配 合	JS-500	18kg
	清 水	18kg
塗 布 量	0.07kg/m <sup>2</sup>	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

3時間以上48時間以内

### 2. 主材 下塗り

- ・ ジョリパット不燃を無希釈で0.8kg/m<sup>2</sup>となるようステンレスゴテで擦るように塗布する。

夏期 4時間以上

冬期 12時間以上

◎乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

### 3. 主材 配り塗り

- ・ ジョリパット不燃を無希釈で約1.5kg/m<sup>2</sup>となるようステンレスゴテで塗布する。

追かけ塗り (5分以内)

### 4. パターン付け

- ・ 配り塗りした主材が乾燥しないうちに、パターン付け専用ぼうきJR-62Xで軽く押さえる様にし、上端から下へ引いてパターン付けをする。下端部は前もって下から上にパターンを付けておく。(図-1)
- ・ 塗り継ぎの部分は、出来るだけJR-62Xの目を合わせ、1回ごとに高さを変え、ちどりに塗り継ぎをし、一カ所に集中しないようにする。(図-2)
- ・ JR-62Xは水で常に濡らし、ぼうきに付着したジョリパット不燃はその都度(頻繁に)取り除く。

追かけ塗り (5分以内)

### 5. ヘッドカット

- ・ 灯油に浸したカットローラー(JR-26,27)で軽く押さえる。

24時間以上放置して乾燥させる。

### <施工のポイント>

- ・ JR-62X を壁面に対して斜めにあて、ジョリパット不燃の表面を軽く削る。一つのパターンの長さは1m程度で、パターンをつなぐ時は、先に付けたパターンに30cm程度重なるようにする。(図-1、2)

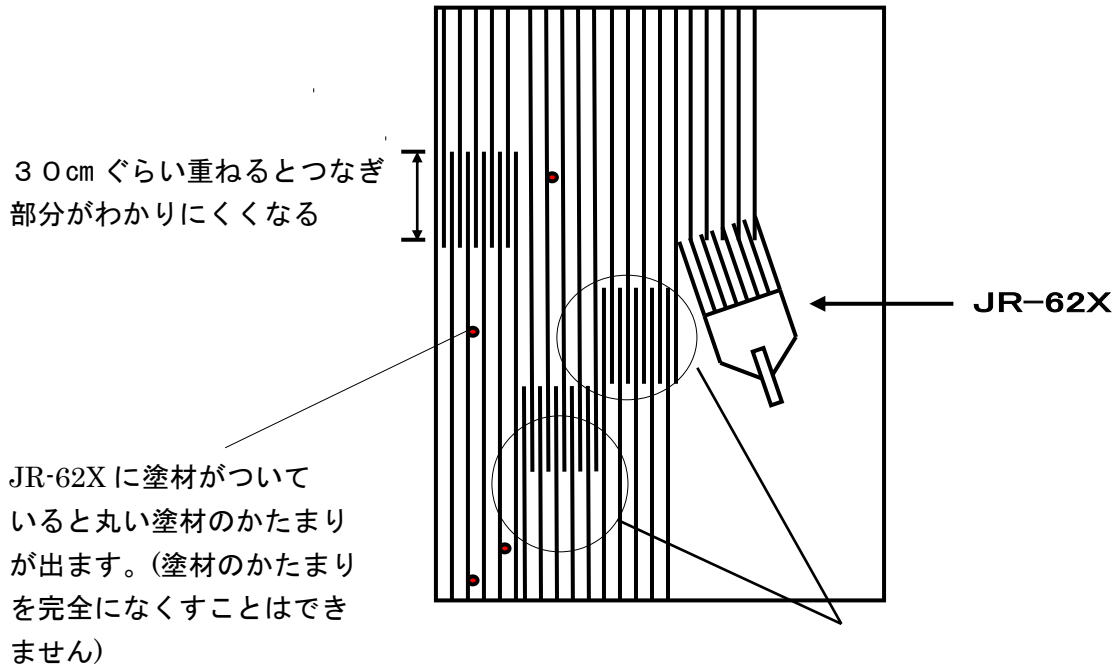


図-1

パターンのつなぎはちどり状にする。(同じ箇所につながない)

#### 塗り継ぎ部

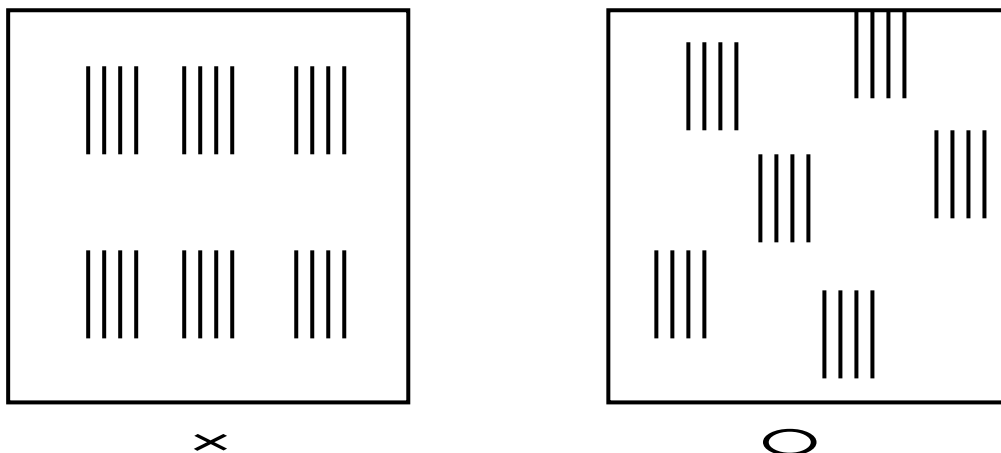


図-2

- ・ JR-62X の先端に付着したジョリパット不燃は、濡れウエスなどで取り除き、常にきれいに保つ。(ジョリパット不燃の玉が壁面に残りにくくする為)
- ・ 配り塗りはできるだけ均一に配って下さい。配り塗りが不均一の場合、パターンにムラが出る場合があります。

- ・ 専用ほうきは必ずJR-62Xを使用して下さい。他のほうきではパターンが出ない場合があります。
- ・ 塗布量が少ない場合、溝が浅くなり、パターンがはっきりとでなくなります。

### <施工の注意事項>

- ・ 施工場所の気温が5℃以下、湿度85%以上の場合、原則として施工を行わないで下さい。やむを得ず施工する場合は、採暖などの養生を行って下さい。
- ・ 施工前に必ずコンパネ等で試し塗りをを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。
- ・ 乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。(特に大面積を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。)
- ・ 塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進める。

以 上